



# 埼玉県の採卵鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ発生!

【所在地】 埼玉県毛呂山町

【飼養状況】 採卵鶏 (約4.5万羽)

【経緯】 11月29日(水) 農場から死亡羽数増加の通報を受け立入検査を実施  
鳥インフルエンザの簡易検査(11/13羽) 陽性  
11月30日(木) 遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの  
疑似患畜であることを確認

## 正しく消毒できていますか? ～逆性石けん～

逆性石けん(アストップ、パコマ、ロンテクト、パンパックス等)は

- ・低温下で消毒効果が著しく低下 ↓↓↓
- ・有機物存在下で効果低下 ↓



どうする?

△逆性石けんの濃度を濃くする。

◎**逆性石けんにアルカリ剤を添加**する。→低温化でも効果が維持・増強

例:水 1t  
逆性石けん(×500～×1000) 1～2L  
水酸化カルシウム 1.7kg

**粒子径の小さい(10μm)  
マイクロ水酸化カルシウム  
(食品添加物規格)**を使ってください。  
推奨濃度:0.17%, 参考価格:500円/kg



どこで使う?

- ・車両消毒 ※1                   ★荷台の消毒も重要!!
- ・オールアウト後の鶏舎消毒
- ・資材(輸送かご、卵トレイ)の漬け込み消毒 ※2、3
- ・作業後の長靴、衣服の漬け込み消毒 ※2、3                   等

<注意>

- ※1 初めての使用時は、アルカリで配管に詰まっていたヘドロ等がはがれてノズルが詰まる恐れがあるので、ノズルを外してから使用しましょう。
- ※2 糞便等の有機物があると、消毒薬の効果が落ちます。必ずきれいに洗浄してから消毒しましょう。
- ※3 長靴は3分間、衣服は10分間の漬け込みが必要です。

衛生管理区域専用の衣服・靴、鶏舎ごと専用の長靴も必須です!

その他 ～消毒薬の凍結防止対策～

低温下で消毒薬が凍結する場合は、**動物用消毒薬に使用可能な不凍液等**を利用しましょう。

# 正しく消毒できていますか？ ～消石灰～

消石灰は家きん舎周囲及び農場外縁部に散布しましょう。

## 散布量目安

- ・日常  
→床面が白くなるように、十分に散布
- ・伝染病発生時  
→1㎡あたり1kgを目安に均一に散布



## 効果

- ・野生動物の忌避効果がある。
- ・水を加えるとアルカリになり、待ち受け消毒として効果が出る。  
※消毒したい対象に含まれる水分量で作用時間が変化。  
(例：糞便は6時間以上で効果を発揮。)

乾燥したコンクリート上への散布時は  
消石灰1袋(20kg)に3～4Lの水  
を散布すると効果的です！

## 注意

- ・粉の状態では瞬時に病原体を殺滅できない。  
石灰帯を車が通過することによるタイヤの消毒(車両消毒)  
長靴で歩くことによる靴底の消毒・踏込消毒 } には不向き。
- ・雨で 3回以上濡れると、効果が減弱する。
- ・野外散布後 3週間以上経つと炭酸カルシウムに変化し、殺菌効果が減弱する。

## 衛生管理・防疫対策を徹底し、 農場を鳥インフルエンザから守りましょう！！

- 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
- 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ねずみ及び害虫の駆除

鶏の様子がおかしいと思ったら… 北部家畜保健衛生所へ

Tel.0478-54-1291 (夜間・休日は転送) 必ず5回以上コールしてください